

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続

(事務・繰出金 組織運営 管理用)

Ⅰ 基本事項

		整理番号		140	
事業名	街路灯維持管理費	予算科目	会計	一般会計・1	
担当部課名	市民生活部 生活環境課		款	総務費・2款	
電話	0799 - 43 - 5024		項	総務管理費・1項	
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		目	交通対策費・10目	
		法的根拠 (法令、条例、要綱等)		南あわじ市防犯灯設置要綱	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	とにかく「いのち」が一番_【安全】			
	施策目標	防犯や安全への意識を高め、子どもや市民を危険から守る			
該当する事業について「 」を選択		事務繰出	組織運営	管理	

Ⅱ Plan (計画・事務内容)

事務又は管理の内容	目的	対象(誰を・どのような状況の人を) 市民(対象人数:平成22年3月末現在)	対象人数(人) 52,012
	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	防犯灯を設置し管理することにより、通学の生徒をはじめ、地域の安全で安心できるまちづくりを実現する。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 地元からの要望及び必要性・緊急性を考慮しながら防犯灯設置要綱に基づき設置し、設置費用・修繕費及び電気使用料を市で負担している。 また、防犯灯設置要綱に該当しない場合であっても、必要性・緊急性に応じて市で設置費用を負担することとし、修繕費及び電気使用料は地元自治会負担としている。ただし、地元管理とする防犯灯については、1灯/年間において1,100円の補助金を交付することで対応している。	
事務又は管理の内容	(具体的に実施した事務又は管理の内容など) 南あわじ市防犯灯設置要綱に基づき新しく設置する。 電気使用料金を負担する。 球切れ等の修繕を行う。 地元が管理する防犯灯については、補助金(1灯当たり1,100円)を交付する。		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 防犯灯管理については、旧町の状況で南あわじ市に引き継ぎ、地元管理に該当する補助金を統一した。		

Ⅲ Do (活動内容、投入資源・コスト)

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	5,229	5,632	5,296	5,356	6,856
	需用費(電気使用料)	4,072	4,414	4,231	4,256	4,256
	需用費(修繕料)	1,157	1,218	1,065	1,100	2,600
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	5,229	5,632	5,296	5,356	6,856
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4
	事業量1(事業に要した日数)					
事業量2(事業に要した人数)						
年間経費([A]+[B])	5,229	5,632	5,296	5,356	6,856	
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	100.5	108.3	101.8	103.0	131.8	
経費に関する 補足説明	平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。					

Ⅳ Check (事業の自己評価・一次評価、コスト分析)

		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事務又は 管理経費	直接事業費対前年度増減率	%	-	7.7	6.0	1.1	28.0
	(事務又は管理経費に係る問題点・課題等) 市で管理する街路灯=1,600余り 修繕(球切れ等)=年間350件 新設工事=30~40箇所 防犯灯維持管理補助金(自治会管理)=2,800灯 問題点としては、市で管理する防犯灯については年間30~40基の新設があり、維持管理費が年々増加しておりコスト高にもなっている。						自己 点 評 価 4
人件費	人件費対前年度増減率	%	-	-	-	-	-
	(人件費に係る問題点・課題等) 兼務であるため交通対策費としては人件費を計上していない。						自己 点 評 価 5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 防犯の見地から通学路等について新設の要望が強い。年間の新設が30~40箇所もあり今後ともこの傾向が継続すると考える。事務の軽減を図るためには、地元管理を進めたいが、自治会に属さない街路灯がかなりあること、市が設置したものを地元に移管し難いことが支障となっている。						<div style="text-align: center;">評価グラフ</div> <p>直接事務費: 4 人件費: 5</p>

V Action&Plan (改善の内容)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 業務改善 <input type="checkbox"/> 人員配置の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 業務改善 <input type="checkbox"/> 人員配置の見直し
	<p>直営管理と地元管理の二元管理を継続する。新設工事と修繕（球切れ等）の発注について業界との単価契約により簡素化を図りたい。また、球切れの修繕の要望があった場合、現地確認をして個別に発注しているが、現場確認作業を修繕費に含むような方法も検討する。</p>	同左。
具体的な改善方法 (現状維持以外の場合)	直接事業費に関すること	直接事業費に関すること
	人件費に関すること	人件費に関すること